

情報収集日：2024年1月

# イギリスで理学療法士になるために



# イギリスの理学療法士免許取得方法について

以下の4つのケースが考えられます。

1. イギリスの大学で理学療法の学位を取得する
2. 理学療法関連の修士を取得する（関連学位を持っている場合）
3. 学位取得見習い制度（Apprenticeship）に申し込む
4. 英国外で取得した免許を既に保持している場合書き換えを申請する

※いずれのケースも臨床を開始する前にHCPCに登録する必要があります。

※HCPCは、英国の15の医療およびケア専門職の法定規制機関です。

今回、4. 英国外で取得した免許の“書き換え”を申請するという形で、イギリスの理学療法士免許を取得する方法について説明します。

理学療法士になるために（イギリス理学療法士協会ウェブサイト）：  
<https://www.csp.org.uk/careers-jobs/become-physiotherapist/routes-physiotherapy>

# Regulating health and care professionals

**Health & Care Professions Council (HCPC)**  
<https://www.hcpc-uk.org/>

# 理学療法士免許取得のためのHCPCへの申請書類

申請には以下の書類・情報の提出が最低限必要となります：

1. 申請書（International Application）
2. ID（パスポート）
3. 住所証明書（公共料金の請求書や銀行の残高証明書等）
4. 理学療法士免許
5. 卒業証明書
6. 英語力証明書
7. Course Information Form（CIF）：フォーマットはオンライン上でダウンロード可
8. 職場・大学・協会の連絡先情報：Officialのメールアドレスのみ使用可能

※2022年4月以降、書類のアップロード及び提出は全てオンラインシステム上で完結しますが、原本が英語で書かれていない文章に関しては、翻訳を行った機関の認証書類も併せて提出する必要性があることに留意して下さい。

# 理学療法士免許取得のためのHCPCへの申請書類

加えて、HCPCが設定する習熟度の基準を満たしている旨の証明を追加で提出することが推奨されています。以下の種類の書類を証明として提出することができます。

## HCPCが定める理学療法士としての習熟度の基準を満たしている旨の証明

- a. 上司からの推薦状
- b. 継続的なトレーニングの記録
- c. メンターシッププログラムへの参加
- d. 追加の教育歴・コースの情報
- e. ケーススタディ

私\*は前職の上司からの推薦状を提出しました。

\*情報提供者：佐久間 善子 氏

これらのオンラインシステム上にアップロードする書類（PDF）は全て第三者によって認証された原本のコピーでなければなりません。署名のための文言、また書類の承認業務にあたれるとされる人物はHCPC側で指定されており、例として以下の職種・職域が挙げられています。

- 英国で登録済みの医療・介護従事者
- 弁護士・会計士・公証人などの専門家
- 教師・講師
- 銀行マネージャー・投資マネージャー・株式ブローカー
- 英国軍将校
- 治安判事・領事・その他の司法関係者
- 英国国教会の牧師・祭司・導師などの宗教関係者
- 国会議員

申請書の詳細について（HCPCウェブサイト）：  
<https://www.hcpc-uk.org/registration/getting-on-the-register/international-applications/>

## Standards of proficiency (習熟度の基準) について

私が日本での臨床経験3年を経て申請した際には、追加のトレーニングや試験は科されませんでした。

HCPCが設定するStandards of proficiency (習熟度の基準) を満たしている必要があります。教育歴・臨床経験・人物像などを照らし合わせて総合的に判断されますので、習熟度が基準を満たしていないと判断された場合には追加の試験やトレーニングを受けるよう要請されます。

※この習熟度の基準は定期的にアップデートされるため、最新版を要確認。

Standards of proficiency (習熟度の基準) (HCPCウェブサイト) :

<https://www.hcpc-uk.org/standards/standards-of-proficiency/physiotherapists/>

Standards of proficiency Physiotherapists (2023年9月1日更新、PDFデータ) :

<https://www.hcpc-uk.org/globalassets/resources/standards/standards-of-proficiency---physiotherapists.pdf>

# 英語力証明書について

## 語学（英語）の試験結果

免許書き換えの申請には2年以内に受験した有効な以下のスコアいずれかが必要となります：

- IELTS：Overall 7.0 (no elements below 6.5)\*1
- TOEFL IBT：100/200以上\*2

\*1: Academic, Generalどちらでも可

\*2: イギリス国内で受験したTOEFLのスコアは使用不可

詳細はこちらです。（HCPCウェブサイト）：

[https://www.hcpc-uk.org/registration/getting-on-the-register/international-applications/documents/certificate-of-english-language-proficiency/](https://www hcpc-uk.org/registration/getting-on-the-register/international-applications/documents/certificate-of-english-language-proficiency/)



# イギリスの理学療法士免許更新について

ライセンスの更新は2年ごと（ご自身が登録してから2年ごとではなく、HCPCが設定している2年ごとのタイムフレームの中で行われます）。更新手続きは基本的にはオンライン上で完結し、以下の項目を引き続き満たしている旨の宣誓を行う必要があります（抜粋）：

- HCPCが設定している習熟度の基準を引き続き満たしていること。
- 善良な人格に関する変化がないこと。
- 健康状態に関する変化がないこと。
- HCPCのContinuing Professional Development (CPD)の基準を満たしていること。
- 適切な補償を提供する専門職賠償責任保険に加入していること。または、更新時には業務を行っていないが、再び業務を開始する際には賠償責任保険に加入する必要があることを理解していること。

※更新の度に、登録から2年以上経過した療法士の中から2.5%がランダムに選出され、監査対象となります。選出された療法士はCPDに関わる証明書類の提出が求められますが、産休や介護などによる長期休暇を取得している人に関してはこの限りではありません。

HCPC更新について（イギリス理学療法士協会ウェブサイト）：  
<https://www.csp.org.uk/professional-clinical/professional-guidance/hcpc-re-registration>



## Q. 働く場所をどうやって決めましたか？

私は現在アカデミアに軸足を置いているので、就職活動からインタビューまで経てきたプロセスが少し違うのですが...もし理学療法士の仕事を探すのであれば、

1. LinkedIn
2. Indeed: <https://uk.indeed.com>
3. CSP: <https://www.csp.org.uk/job>
4. NHS: <https://www.jobs.nhs.uk/candidate>

などの求人媒体を見てみると良いかもしれません。医療職の友人の多くは就職活動にこれらの媒体か、イギリスのエージェントを利用していました。イギリスの理学療法士免許取得≠就労許可の取得なので、就職活動をする際には受ける会社がビザの sponsorship を出せる会社なのかを調べておくことが肝要です。

スポンサーシップを出せる会社（イギリス政府ウェブサイト）：  
<https://www.gov.uk/government/publications/register-of-licensed-sponsors-workers>



情報提供者：佐久間 善子 氏

## Q. 免許取得までの期間はどれくらいでしたか？

以前はInternational Applicationと必要書類・情報を提出してから60日と公式では述べられていましたが、現在は6ヶ月前後を要するケースが多いようです。

### <準備から登録完了までの流れ>

2022年3月：CIFのためのシラバスの翻訳作業開始  
2022年5月：HCPCオンラインアカウント作成  
2022年5月：International Application入力開始  
2022年8月：必要書類を日本から取り寄せ  
2022年10月：前職の上司から推薦状を受領  
2022年11月：書類の認証完了  
2022年11月：オンラインで書類提出、審査料支払い  
2022年11月：前職での臨床経験の照会が完了  
2023年6月：卒業大学の学位照会が完了  
2023年8月：日本の理学療法士免許登録の照会が完了  
2023年8月：登録料支払い、HCPC登録完了

私の場合はコミュニケーションエラーが起きたこともあって、取得まで1年程を要してしまいました。参考までに、私のタイムラインを記載させていただきます。

教育歴や臨床経験の情報照会はメールで行われます。それに返信をしてくださる出身大学の事務・職場の方がHCPCの承認業務を行った経験がない場合、返信を代筆する、ないしどのように返信をして頂きたいのか、ガイダンスを事前にお伝えしておいた方が良くもかもしれません（返信内容に不足がありますと照会は完了しません）。

書き換え申請をするときに予想されること（HCPCウェブサイト）：  
<https://www.hcpc-uk.org/registration/getting-on-the-register/international-applications/what-to-expect/>

情報提供者：佐久間 善子 氏

**学歴：**

- ・ 2017年 国際医療福祉大学 小田原保健医療学部・理学療法学科を卒業
- ・ 2022年 Imperial College LondonにてMaster of Public Health (Global Health Stream)を取得
- ・ 2023年 イギリスの理学療法士免許を取得

**職歴：**

- ・ 2017-2020年 順天堂大学医学部附属静岡病院で急性期リハビリテーション、地域リハビリテーション支援活動に従事
- ・ 2023年- London School of Hygiene and Tropical Medicine でResearch Assistantとして障害者・高齢者に関わるプロジェクトをリードしている

**【お問い合わせ】**

Twitter: @yoshiko\_sakumph

LinkedIn: <https://www.linkedin.com/in/yoshiko-sakuma/>

## その他（海外に興味のある若手のためになる情報など）

1. HCPC guidance for international applications by Chartered Society of Physiotherapy (Last reviewed on 30 January 2023): International Applicationの記入のポイントをCSP（イギリス理学療法士協会）がビデオで解説してくれています。  
<https://www.csp.org.uk/careers-jobs/working-united-kingdom/how-register-physiotherapist-uk/hcpc-guidance-international>
2. Health and Care Worker Visa: 理学療法士としてNHSで勤務する際のビザの要件が書かれている政府のWebページです。  
<https://www.gov.uk/health-care-worker-visa>
3. CV and resumes: 私の母校であるImperial College Londonのキャリアサービスのページです。海外での就職活動に必要なCV（履歴書）、cover letterの書き方やインタビューの対策などを職域別（アカデミア・インダストリ）に載せてくれています。是非参考にしてみてください。  
<https://www.imperial.ac.uk/careers/applications-and-interviews/cv/>

こちらの情報は2024年1月時点での情報です。

※こちらの情報すべてで必ずイギリスで理学療法士として働くことができるわけではありません。

※最新情報については、ご自身で責任をもって情報収集をしてください。

※情報収集やお問い合わせなどのプロセスも海外で働くために必要となる能力です。

また、イギリスの理学療法士になるための条件や必要書類などの最新情報は、下記をご確認ください。

Health & Care Professions Council (HCPC)

<https://www.hcpc-uk.org/>